

岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集 原稿執筆要領

1. 用紙サイズ

原稿は全て A4 版用紙にワープロ（Microsoft-Word）で作成することを原則とする。

2. 投稿原稿

投稿原稿は完全版下原稿（そのまま印刷できるように割り付けした原稿）とし、次の規格に従うものとする。

1) 学術論文・研究ノート

学術論文・研究ノートは、次に示す執筆要領に従うものとする。横書き用および縦書き用の 2 種類がある。横書きを原則とするが、人文科学系論文で記述上必要がある場合は縦書き用を選択してもよい。なお原稿の長さは、学術論文は 12 ページ以内、研究ノートは 6 ページ以内を原則とする。

① 横書き用

- 1) 本文は日本語、または英語とする。
- 2) 原稿は横書き 2 段組とし、1 ページ文字数は 2400 文字（25 文字×48 行、2 段組）とする。本文は、全角文字については MS 明朝 9pt を、半角英数字は Times New Roman 9 pt を使用すること。なお、見出しタイトルは、全角文字は MS P ゴシック 10 pt を、半角英数字は Arial 10 pt を使用すること。
- 3) マージンは上 25mm、下 25mm、左 20mm、右 20mm とし、ヘッダーフッターは利用しない。
- 4) 第 1 ページ目は表題、氏名、英文要旨、キーワード、所属学科・専攻または所属機関等の記載の分だけ本文記入が削減される。これらの記載方法は次の通りである。実際のレイアウトは別紙記入例を参照のこと。
 - ① 表題は日本語および英語（本文が英語の場合は英語および日本語）とし、日本語は MS P ゴシック 14 pt（副題は MS P ゴシック 12 pt）、英語は Times New Roman 10.5 pt とする。
 - ② 氏名は MS 明朝 10.5 pt とし、名前の最後に*等の記号を付して、所属と対応させる。また改行して英語（Times New Roman 10.5 pt）を表記する
 - ③ 英文要旨は、論文の内容の主要な点を 100 語程度に簡潔にまとめ、刷り上り本文の前に据える。文字は Times New Roman 9 pt とする。
 - ④ キーワードは本文の内容を表すのにふさわしい 3 語（英語および日本語）を記載する。文字は行頭に Times New Roman 9 pt ボールドおよびイタリックとし、キーワード本体は Times New Roman 9pt および MS 明朝 9pt とする。
 - ⑤ 所属は、本学教員の場合は次の通りとする。生活科学科は学科名および専攻名を、国際文化学科は学科名のみとする。共同研究者は正式な所属機関名を記載する。
 - ⑥ 本文が英語の場合、本文最後に和文要旨（300 文字程度）を据えること。

② 縦書き用

- 1) 本文は日本語とする。
- 2) 原稿は縦書き 2 段組とし、1 ページ文字数は 2170 文字（35 文字×31 行、2 段組）とする。本文は、全角文字については MS 明朝 9pt を、半角英数字は Times New Roman 9 pt を使用すること。なお、見出しタイトルは、全角文字は MS P ゴシック 10 pt を、半角英数字は Arial 10 pt を使用すること。
- 3) マージンは上 25mm、下 25mm、左 20mm、右 20mm とし、ヘッダーフッターは利用しない。
- 4) 第 1 ページ目は表題、氏名、所属学科・専攻または所属機関等の記載の分だけ本文記入が削減される。これらの記載方法は次の通りである。実際のレイアウトは別紙記入例を参照のこと。
 - ① 表題は日本語とし MS P ゴシック 14 pt（副題は MS P ゴシック 12 pt）とする。
 - ② 氏名は MS 明朝 10.5 pt とし、名前の最後に*等の記号を付して、所属と対応させる。

- ③ キーワードは本文の内容を表すのにふさわしい3語（英語および日本語）を記載する。文字は行頭に Times New Roman 9 pt ボールドおよびイタリックとし、キーワード本体は Times New Roman 9 pt および MS 明朝 9 pt とする。
- ④ 著者全員の所属を論文の最後に記載する。所属は、本学教員の場合は次の通りとする。生活科学科は学科名および専攻名を、国際文化学科は学科名のみとする。共同研究者は正式な所属機関名を記載する。
- ⑤ 論文の最終ページに英文タイトル (Times New Roman 12 pt) および英文アブストラクト (100 字以内、Times New Roman 9 pt) を記載する。

2) 総説・研究報告・書評・報告

総説・研究報告・書評・報告は、次に示す執筆要領に従うものとする。横書き用のみ 1 種類がある。なお、原稿の長さは、研究報告・書評・報告については 6 ページ以内、総説は 12 ページ以内を原則とする。

- 1) 本文は日本語、または英語とする。
- 2) 原稿は横書き 2 段組とし、1 ページ文字数は 2400 文字（25 文字×48 行、2 段組）とする。本文は、全角文字については MS 明朝 9pt を、半角英数字は Times New Roman 9 pt を使用すること。なお、見出しタイトルは、全角文字は MS P ゴシック 10 pt を、半角英数字は Arial 10 pt を使用すること。
- 3) マージンは上 25mm、下 25mm、左 20mm、右 20mm とし、ヘッダーフッターは利用しない。
- 4) 第 1 ページ目は表題、氏名、キーワード、所属学科・専攻または所属機関等の記載の分だけ本文記入が削減される。これらの記載方法は次の通りである。実際のレイアウトは別紙記入例を参照のこと。
 - ① 表題は日本語および英語（本文が英語の場合は英語および日本語）とし、日本語は MSP ゴシック 14 pt（副題は MSP ゴシック 12pt）、英語は times New Roman 10.5 pt とする。
 - ② 氏名は MS 明朝 10.5 pt とし、名前の最後に*等の記号を付して、所属と対応させる。また改行して英語（Times New Roman 10.5 pt）を表記する。
 - ③ 英文要旨は記載することが望ましい。記載する場合、論文の内容の主要な点を 100 語程度に簡潔にまとめ、刷り上り本文の前に据える。文字は Times New Roman 9 pt とする。
 - ④ キーワードは本文の内容を表すのにふさわしい 3 語（英語および日本語）を記載する。文字は行頭に Times New Roman 9 pt ボールドおよびイタリックとし、キーワード本体は Times New Roman 9 pt および MS 明朝 9 pt とする。
 - ⑤ 所属は、本学教員の場合は次の通りとする。生活科学科は学科名および専攻名を、国際文化学科は学科名のみとする。共同研究者は正式な所属機関名を記載する。
 - ⑥ 本文が英語の場合、本文最後に和文要旨（300 文字程度）を据えることが望ましい。

3. 一般的な執筆に関する細則

- 1) 論文等に使用する用語は、各専門分野の学術用語集等を適宜参考にすること。なお情報・システム情報機構、国立情報学研究所では、「オンライン学術用語集 (Online Scientific Terms)」を提供しているので、必要に応じて適宜利用されたい (URL <http://sciterm.nii.ac.jp/cgi-bin/reference.cgi>)。
- 2) 単位および単位記号は SI 単位系 (JIS Z 8203-2000 国際単位系 (SI) およびその使い方) とする。
- 3) 図・表の文字、説明、表題は原則として英文とし、図には Fig.1、Fig.2、表には Table 1、Table 2 のように通し番号を付ける。
- 4) 注・引用文献・参考文献の表記は右上付き文字とし、引用順に通し番号を付ける。本文の注及び引用文献の書式は下記の通りとする。
 - ・雑誌の場合：著者名、論文タイトル、雑誌名、巻、ページ（最初と最後）、年号の順。
 - ・著書（単行本）の場合：タイトル、書名（編著）、（巻）、ページ（最初と最後）、出版社、年号の順。
 注）雑誌名の略記は、各々専門分野における一般的表記の仕方を参考とする。